

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回本庄市総合教育会議		
開催日時	令和6年1月26日(金)	午前・午後 午前・午後	2時00分から 2時55分まで
開催場所	カミケンシルクドーム会議室B		
出席者	<p>【構成員】 吉田市長、下野戸教育長、岡崎教育長職務代理者、 落合委員、今井委員、高橋委員</p> <p>【教育委員会事務局】 笠原教育委員会事務局長、武政教育委員会事務局参事、 新井教育総務課長、塩原スポーツ推進課長、 柳教育総務課長補佐、新井スポーツ推進課長補佐</p> <p>【事務局】 内田企画財政部長、橋本企画課長、鈴木企画課長補佐、 企画課坂口主査</p>		
議題 (次第)	<p>1 開 会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 教育長挨拶</p> <p>4 議 題 スポーツによる健康づくりについて(意見交換)</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料：スポーツによる健康づくりについて 		
その他特記事項			
主管課	企画課		

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>皆さまこんにちは。本日はお忙しいところ、令和5年度第3回本庄市総合教育会議に御出席を賜りまして誠にありがとうございます。司会を務めさせていただきます、企画財政部企画課の橋本と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これより会議を始めさせていただきます。</p> <p>なお、本日は傍聴の希望者はありません。</p> <p>次第の2、市長挨拶でございます。本庄市長よりお願いいたします。</p>
市長	<p>皆さまこんにちは。今年度3回目の総合教育会議ということで、本日は「スポーツによる健康づくり」について意見交換を行います。</p> <p>本庄市は「市民一人1スポーツ」をスローガンに掲げており、多くのスポーツ関係者やレクリエーション関係者に御尽力いただいています。課題もありますが、スポーツによる健康づくりには力を入れていると自負しています。</p> <p>こうした取組を進めながら、時代のニーズに的確に対応し、超高齢化社会ではありますが、多くの方がスポーツに親しむことができるまちづくりを推進していきたいと考えています。本日も、皆さまと忌憚のない意見交換を行い、有意義な時間を過ごすことができればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。続きまして、次第の3、教育長挨拶でございます。下野戸教育長よりお願いいたします。</p>
下野戸教育長	<p>皆さまこんにちは。先ほど、シルクドームの視察の中で、ニュースポーツのラダーゲッターを体験させていただいて、とても楽しい気持ちになりました。やはり、スポーツは人の気持ちを穏やかにさせたり、スッキリさせたりする効果があると、改めて感じました。</p> <p>子ども達の中では、スポーツに親しんでいる子と、そうではない子の差が広がっています。スポーツの習慣が身につけている子もいれば、ほとんどスポーツをしない子もいます。車社会ですから、歩く機会も減っています。</p> <p>ラダーゲッターのような、親しみやすいスポーツを子ども達に広めることによって、家族にも広まる可能性があります。皆さまと様々なアイデアを出し合えたらと思いますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。それではここで、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>① 本日の次第 ② 資料 スポーツによる健康づくりについて</p> <p>以上、2点でございます。</p>

	<p>それでは、これより議題に入らせていただきます。本庄市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、市長が本会議の議長となることとされております。これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
市長	<p>要綱に基づき、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな進行に御協力をよろしくお願いたします。</p> <p>本日の会議録でございますが、本庄市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、「会議録には、市長及び市長が指名する1人の構成員が署名するものとする」とあります。本日の会議録につきましては、私と下野戸教育長が署名するというところでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは、事務局にて作成された会議録につきましては、本日御出席の皆さまに御確認いただいた後に、私と下野戸教育長で署名を行うこととさせていただきます。</p> <p>議事に入らせていただきます。本日の議題の「スポーツによる健康づくりについて」事務局から説明をお願いします。</p>
【議題】 スポーツによる健康づくりについて	
事務局 (スポーツ推進課長)	(資料に基づき説明)
市長	<p>ただいま、「スポーツによる健康づくりについて」説明いただきました。皆さまから御意見・御質問等ございますか。</p>
今井委員	<p>私自身も含め、健康づくりという点では、運動習慣をつけることが大切だと思います。スポーツジムなどにも高齢の方が多くいらっしゃるのですが、そのような考えが浸透しつつあると感じています。</p> <p>さらに運動に親しむためには、スポーツ教室やスポーツジムに出向いて運動するよりも、身近な場所で運動できる環境が整備されると良いのではないのでしょうか。交通の便や金銭的な理由で出向くことができない方もいらっしゃいますし、健康のために歩いている方も多いです。</p> <p>韓国ドラマなどでは、公園に様々なトレーニング器具があつて、使っている方を多く見かけます。散歩途中に公園に寄って、筋トレをして帰るといった様子を見て、とても良い環境だと思っています。</p> <p>本庄市の公園も整備されていますが、あまり人がいない公園もあります。公園にトレーニング器具を設置することによって、遊びに来た子ども達も気軽に運動できると思いますので、子どもの運動経験という面でも良い影響があるのではと考えます。</p> <p>また、本庄市の公園には、子どもが遊べる楽しい公園が少ない</p>

	と感じます。ふわふわドームや高崎のケルナー広場のように、外で遊ぶ楽しさを知ることによって運動経験にもつながりますので、もう少し魅力的な公園がたくさんできると良いと思っています。
市長	ありがとうございます。今井委員のお話で思い出しましたが、カミケンシルクドームの外にも、簡単なトレーニング器具があったと思いますが、あの器具は使われていますか。
事務局 (スポーツ 推進課長)	使っている方を見たことがあります。
市長	もう少し、公園などにそういった器具があると良いということですね。器具はメンテナンスが必要ですから、管理の面が大変だと思います。 市のウォーキングマップもありますよね。内容は定期的に更新しているのでしょうか。
事務局 (スポーツ 推進課長)	定期的に更新しており、今年度も更新しました。各公共施設に配置していますので、カミケンシルクドームにもあります。
市長	せっかくですから、皆さまに配布していただけますか。 (事務局からウォーキングマップを配布) もう10年以上前のことになりますが、このウォーキングマップは、川淵三郎さんの監修のもとに作成しました。市内の様々な場所で、「ここでもウォーキングできるよね。」と話しながら作成しました。身近な場所で手軽にできる運動として、ウォーキングは大切だと思います。 その他に、皆さまから御意見等ございますか。
岡崎委員	スポーツというとやや硬い印象になりますが、遊びの延長線上にあるものだと思います。最近では、eスポーツというものもあります。 振り返ってみると、私がこどもの頃は、身近なものを工夫して遊びに使っていた時代でした。木やボールなどを使って、少し危険な遊びをした記憶もありますが、現在はそういった遊びが難しい中、こども達はゲームへの関心が高く、ゲームをしている時間が長いという現状があります。 eスポーツについては、捉え方を柔軟にした方が良いのかどうか、私も迷う部分があります。世界的にはスポーツとして認められていますので、体力づくりは別として、心身の健康を保つという面では、資する部分もあるのではないかと感じています。 また、家に籠っている若い人が、eスポーツをきっかけに外出することがあれば、それも良いことかなと思います。
市長	ありがとうございます。心身の健康という面から、eスポーツをどう捉えたらよいかという問題ですね。eスポーツだけですと

	<p>捉え方は難しいですが、eスポーツをきっかけにして人と人が繋がるという点においては、有益性もあるかもしれません。現在は、ゲームのみならず、バーチャルリアリティやメタバースといったものも発展しています。その世界に籠っていると、体を動かすことがなくなってしまうので、健康上問題がありますが、それが外出するきっかけになるとしたら、それは良いことだと思います。その他に、皆さまから御意見等ございますか。</p>
落合委員	<p>スポーツの概念をもう一度見直す必要があると感じます。最近では、遊びもスポーツと捉える傾向がありますが、スポーツで最も重要なことは脈拍を上げることだと考えます。脈拍を上げることによって、発汗作用や循環作用といった体内の環境を整えることがスポーツだと考えます。</p> <p>それを身近に行うには、やはり歩くことが一番です。ですから、市でも「歩きましょう」といったキャンペーンをしていると思います。万歩計を使ったり、何時間歩いたか記録したりする方がいますが、ここに行けばこれだけ歩くことができるといったことが分かるような環境を整備していただくことが有効だと思います。</p> <p>ウォーキングマップに掲載されているコースは、時間がかかるものが多いですが、日常の中でウォーキングを取り入れることが大切だと思います。雫岡城跡の公園に行きますと、散歩に来ている方や、自転車や車で公園まで来て、公園を歩いてから帰る方がいます。</p> <p>歩いた歩数は万歩計で分かりますが、距離は分からないので、こういった場所に距離が分かる表示をすると、歩く方も楽しくなるのではないのでしょうか。そのような表示があれば、スマートウォッチなどを着ける必要もなくなるでしょう。</p> <p>生活の中でどのようにスポーツ環境を整えていくかということを中心としながら、結果が分かりやすくなるような形を考えていくと良いと思います。そうすれば、歩く方の満足感にもつながります。スポーツには満足感が大切ですから、そういう部分を捉えていくと、市民が1人でも多く歩くようになるのではないかと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。歩数は人によって違いますから、歩数と距離が両方分かると面白いですね。公園などに、1周で何mといった表示をしている場所もありますので、そのような表示を増やしたらいかがでしょうかというご意見です。</p> <p>市民アンケートで、皆さんは普段どこを歩いていますか、距離の表示があると良いと思う場所がありますかといったことを聞いてみて、意見が多くあがった場所を整理してみると良いかもしれません。</p>
高橋委員	<p>落合委員がおっしゃるように、運動はエネルギーを消費するものです。カロリーと称されますが、それは体重×距離、つまり自分の体重をどれだけ運んだかという仕事量です。万歩計を見ると、</p>

	<p>1歩はおおよそ70センチ位です。距離が一番大切で、歩いた時間は関係ありません。体重×距離が仕事量ですので、そういった科学的な考え方をご指摘いただいたものと思います。</p> <p>また、ウォーキングマップをいただき、ありがとうございます。現在、⑦早稲田の杜ウォーキングコースを歩くことができないという点が残念でした。私も、大久保山周辺を歩くことがあります。都内のある場所の遊歩道でも、倒木の危険性がありましたが、今年度中に危険性を除去するというニュースを見ました。⑦のコースを多少短くしてもやむを得ないと思いますので、整備していただければありがたいです。</p> <p>私の立場としますと、やはり高齢者の問題が気になります。介護保険で運動に通っていらっしゃる方、例えば、デイサービスに通っていらっしゃる方がたくさんいます。健康寿命の延伸のためには、介護保険の対象になる前が大切ですので、前期高齢者と言われる65歳から75歳位までの方を対象に、スポットを当てた事業ができないだろうかと思えます。医療費の抑制にもつながりますので、ぜひ何かアイディアを出していただければと思います。</p> <p>その位の年齢ですと、デジタルが得意な方も多いです。昨日、同窓会の幹事会がありましたが、ほとんどの同級生はLINEなどのデジタルツールで連絡を取ることができます。こういう時代ですので、前期高齢者の方を対象に、デジタルで結ぶスポーツの取組についてアイディアが出ると良いと思い、提案させていただきます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。本日は「スポーツによる健康づくり」ということで、教育委員会事務局に限っていますが、保険課では「はにぼんチャレンジ」といった取組もしています。ただ、この取組もまだデジタル化していません。「はにぼんチャレンジ」のような取組を通じて、より多くの方が、御自身の体力に合わせて運動できるような環境づくりを進めることが大切です。</p> <p>先ほど、教育長がお話しされたお子さんのスポーツの状況については、学校で具体的な工夫はされているのでしょうか。お子さんへのスポーツの促しといった点で、現場の先生方が苦勞されている部分、あるいは成果があった試みなどありましたら、お話しいただけますか。</p>
教育長	<p>学校は生きる力をつける場所です。よく「知徳体」と言いますが、学力の向上と同様に、体力づくりについても各学校で取り組んでいます。現在は、朝の健康観察などもあり、朝マラソンは行わない学校が増えていますが、業間休みにマラソンをする学校もあります。</p> <p>子ども達に運動する機会を与えるという意味では、体育の授業が中心になります。なわとびをみんなで行ったりしていますが、中には嫌々やっている子もいますので、体を動かすことが楽しいという思いをどう持たせるかという部分で、先生方も一生懸命取</p>

	<p>り組んでいただいていると思います。一時期、投げる力の低下が問題になり、色々な仕掛けをしながら取り組んでいる学校もありました。</p> <p>体力テストの結果では、埼玉県は全国的にも常に上位を占めていますので、スポーツに親しんでいる子が多いのだと思っていますが、ほとんどスポーツをしない子もいますので、冒頭でお話したような二極化が進んでいるのかなと感じます。</p> <p>ですから、スポーツの定義は様々ありますが、まずは体を動かすことは楽しいという思いをこどものうちから体験させるということが、将来にもつながっていくと考えます。こどもはウォーキングを楽しみとは思わないかもしれませんが、先ほどのラダーゲッターのようなスポーツをすることで、楽しいという思いを持ってもらいたいという気持ちがあります。</p>
市長	校庭に鉄棒などもありますが、現在は使っているのでしょうか。
教育長	<p>中にはぶら下がっている子もいますが、たくさんのこどもが使っているということは無いですね。</p> <p>現在は、なわとびの時期になると、ベニヤ板を使ったジャンプ台というものを出しますが、とても人気があります。ベニヤ板でバウンドするので、二重飛びや三重飛びが簡単にできます。</p> <p>学校では色々な仕掛けをしていますが、それでも苦手意識のある子はいますので、小学生の間は外でボールを蹴ったり、鬼ごっこをしたりという、まずはそこからだと思います。</p>
市長	<p>飛ぶということは、お子さんは好きですね。総合公園のふわふわドームも、とても人気があります。</p> <p>最近、ふわふわマットという遊具が開発されたそうです。ふわふわドームは、多くのお子さんが遊んでいると、障害のあるお子さんなどは怖い思いをしますと思いますが、ふわふわマットは、他のお子さんの影響を受けずに遊ぶことができます。</p> <p>こういった遊具をインクルーシブ遊具というそうですが、本庄市も導入できたらと思っています。</p>
今井委員	ふわふわドームは、他の自治体で怪我をしたお子さんがいたそうです。親の管理の問題でもありますが、小さい子と大きい子が一緒に遊んでいると、小さい子が飛ばされてしまうという、遊具の安全性としての問題がありますね。
市長	<p>遊びやスポーツを通じて、危機管理能力を身に付けることも大切です。怪我をしないように気を付けることも大切ですので、危険なものを全て取り除いてしまうことが、本当に良いことなのだろうかと感じます。</p> <p>お子さんが学校でスポーツなどによって怪我をした際に、先生方も非常に気を使っているのではないかと思います。現場ではいかがですか。</p>
教育長	学校では、首から上の怪我には特に気を付けています。また、

	<p>こどもが帰る前に保護者に連絡するようにしています。</p>
市長	<p>怪我はあってほしくないことですからね。一通り皆さまから御意見をいただきましたが、私から事務局に考えを聞きたい点があります。</p> <p>本庄市には、「市民一人1スポーツ」という大きな理念があります。これをもう少し具現化といいますか、こういうことを目指していきたいといったもの、数値目標が良いのか分かりませんが、何か市民の皆さんに促していけるようなものがあると良いと感じています。</p> <p>例えば、スポレクフェスタの参加者数は、雨が降れば減ってしまいますから、それだけを目指するのは良くないと思います。市民の皆さん一人一人が、「私はこんな風に体を動かしています。」と言える状態になり、その結果が健康寿命などを通じて現れれば大成功だと思います。</p> <p>「市民一人1スポーツ」という理念をさらに普及させるために、どんなことができるだろうと考えていますが、その点についてはいかがですか。</p>
事務局 (スポーツ 推進課長)	<p>スポーツについては、1人でできるのか、複数人でないといけないのかという点で、促し方が違うと考えています。</p> <p>例えば、ウォーキングやランニングは1人でできますが、複数人でないといけないスポーツについては、何に取り組んだら良いか分からないという方も多いため、スポレクフェスタで色々な競技を体験して選んでいただくという方法もあります。</p> <p>自分はこのスポーツだったらできる、このスポーツは自分に合っていると思うものを選んでいただけるような、体験の機会を増やせればと考えています。</p> <p>スポレクフェスタだけではなく、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、一般の任意団体と協力しながら、そういう場を提供できる仕組みを作っていくことが大切だと考えています。</p>
市長	<p>サークル、グループなど、様々な場を提供することはとても大切なことですよね。</p> <p>先ほど、落合委員からお話がありましたが、満足感も大切だと思います。はにぼんチャレンジや万歩計も満足感につながるものだと思いますが、一人一人がこのスポーツをやってみよう、このスポーツは満足を得られるといった状態になっていただくために、もう少し色々な取組ができないだろうかと思っています。</p> <p>私も、「運動の機会を増やしましょう。」といったことは言えますが、さらに一歩踏み込んで、何かできることがないだろうか悩んでいます。</p> <p>スポーツで「嬉しい」、「楽しい」、「感動する」といった状態になっていただくために、何が必要か。歩いた距離を分かるように</p>

	<p>するというこも、面白いアイデアだと思います。皆さまから、御意見はありますでしょうか。</p>
岡崎委員	<p>よく、中国の公園などで、たくさんの方が集まって太極拳をしている光景を見かけますが、なぜああいったことが行われているのでしょうか。文化といいますか、自然発生的なものなのでしょうか。</p>
落合委員	<p>中国の公園については、調べたことがあります。まず、ベンチは災害時にかまどとして使えるようになっています。ベンチにはいくつかのパターンがあり、ストレッチできるようになっていて、太極拳をした後にストレッチしている人もいます。</p> <p>また、ボランティアかもしれません、公園に監視員や指導員がいるので、安心だそうです。安心・安全が担保されていますので、子ども達が自由に遊びながら、親たちも情報交換をするような場になっているそうです。</p>
市長	<p>大きな公園では、管理人が雇われているのだと思います。首都など大都会の公園ですと、悪いことが起きないように、そういった人を配置しているのでしょう。</p> <p>なぜ、たくさんの方が集まって太極拳をしているだろうと思いますよね。本庄市でも、色々な場所でラジオ体操をしているのを見かけますが、少人数ですし、ラジオ体操はすぐに終わってしまいます。</p>
落合委員	<p>健康に良いという情報がしっかりと出ていると思いますし、中国の文化の中に昔からあるものだと思います。</p>
市長	<p>病院へ行くと費用がかかるといった背景もあり、健康を保とうとするという意識が高いのかもしれません。</p>
落合委員	<p>自助努力しなければならぬ部分は、歴史的・文化的な背景としてあると思います。</p>
市長	<p>日本においても、高額医療等はある程度自己負担を求めていかないと、医療制度がもたないと話している方もいます。これからの時代は、医療はただではないということ国民全体に分かっていただく必要があります。</p> <p>医療や医療保険を堅持すると同時に、長寿社会でもありますから、健康には気をつけましょうということの大いに宣伝しなければと感じます。そう考えますと、公園に集まって太極拳をするのも良いかもしれませんね。</p>
岡崎委員	<p>そうですね。歩くことも大切です、太極拳などは限られた場所でもできますしね。</p>
市長	<p>市内にも太極拳の会があり、大会を見るとすごいなと感じます。太極拳の会に入ると、いかに綺麗にできるかということが目標になっていくようです。結果として、日々の健康づくりにも役立っていると思いますが、太極拳の会が集まって大会を開き、どちらが綺麗か競うということをしているようです。</p>

落合委員	<p>先日、ある学校のPTAの集まりに参加して、大切だと感じたお話がありました。それは、体育と食育をクロスオーバーさせるということです。</p> <p>給食では、残飯の問題があります。給食の献立や成分表なども配布していると思いますが、保護者がどれ位見ているのかという問題もあります。食育は体を育てることに通じますので、食育に対する子どもたちや保護者の理解を促すことが大切です。これは、将来的な課題として捉えていただければと思います。</p>
教育長	<p>クロスオーバーというとなかなか難しいと思いますが、子ども達は給食を楽しみながら食べています。ただ、傾向としては、魚やひじきなど、普段家庭で見慣れないようなものは、残りがちです。先日、初めてナピラが出ましたが、子ども達が食べたかなと気になっています。</p>
市長	<p>ナピラは、栄養的にはとても良いですね。</p>
教育長	<p>完全食に近いのではと思いますが、納豆が嫌いな子は食べられないかもしれません。納豆は、給食にもあまり出ていません。</p>
市長	<p>以前は、納豆は給食に出ていたと思います。</p>
教育長	<p>現在は、ひなまつりの時期に手巻き寿司の献立で、ひきわり納豆がチューブで出るくらいで、ひと月に1回出るといったことはありません。毎日納豆を食べる方もいらっしゃいますので、好きな子もいると思います。</p>
今井委員	<p>家庭の環境によって、コンビニ弁当ばかり食べていたり、外へ遊びに行かなかつたりすると、子どもにもそういった習慣がついてしまうことがあると思います。子どもに対しては、学校の中で、栄養バランスを考えながら食事をすることや、体を動かすことが楽しいといった感覚を、しっかりと教えることが大切です。</p> <p>子ども達に教育することによって、親になった時に、子どもに良い習慣をつけさせることができると思います。まずは、自分の体を大切にしようというメッセージを伝えることからなるのではないのでしょうか。</p>
市長	<p>こどもの頃の話は、色々と覚えていますよね。ですから、こどものうちに、体を動かすことや食事について教えることはとても大切です。</p> <p>給食でも、「これを食べた方がいいよ。」と先生から声掛けをしていただくことによって、お子さん達の意識も変わると思います。ひじきが出たら、「ひじきは、ミネラルが入っていて体にいいよ。家で食べたことが無い人は、買ってきてもらって食べてごらん。」と声を掛けていただくと、先生が体にいいと言っていたから、食べてみようと思うのではないのでしょうか。</p>
教育長	<p>本庄市でも、本庄南小学校には栄養教諭が在籍していますので、給食の時間は子ども達が食べている様子を見ていただいたり、ナピラが出た日にも色々な話をさせていただいたりしたようです。</p>

	<p>また、家庭科で栄養の学習をする時間は、すべての学校で栄養教諭を呼んでいます。</p>
市長	<p>できれば、栄養教諭が各学校を周ることができると良いと思います。あるいは、先生方を集めて、食育について話しても良いかもしれません。</p> <p>本日は、スポーツの話から様々な話題に発展しました。「市民一人1スポーツ」というスローガンですが、こちらはいつ頃から使われているのでしょうか。</p>
事務局 (スポーツ推進課長補佐)	<p>昭和50年代に、本庄市の健康都市宣言に関連して使われたものだと思います。</p>
市長	<p>本庄市では、以前、健康都市宣言をしましたよね。当時は健康づくりのために、市民に対して「江戸から京都までの距離を中山道で歩きましょう」といったキャンペーンを行うなど、様々な取組をしたようです。</p> <p>もしかしたら、あと数年で「健康都市宣言50周年」といった時期が来るかもしれません。それに向けて、市民のスポーツに対する関心を高めていくといったキャンペーンを行っても良いのではないのでしょうか。</p>
今井委員	<p>シニア世代のスポーツ大会を誘致してはいかがでしょうか。</p>
市長	<p>令和8年度に、埼玉県でねんりんピックを開催することが決まりました。本庄市でも手を上げていますので、ぜひ誘致できると良いと思っています。</p> <p>本日は、皆さまからたくさんの忌憚のない御意見をいただき、ありがとうございました。今後も、スポーツによる健康づくりを推進していきたいと考えていますので、皆さまの御支援をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議題については以上とさせていただきます。円滑な議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。それでは、進行を事務局へお返しします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>皆さまには、慎重審議いただき大変ありがとうございました。最後にその他といたしまして、今後のスケジュールについて御説明いたします。今年度の会議につきましては、本日で終了となります。皆様には、大変お世話になりました。来年度の会議につきましては、日程が決まり次第お知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>その他につきましては、以上でございます。それでは、以上をもちまして、総合教育会議を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>

様式

市長

吉田信解

教育長

下野戸陽子
